

# ひょうごらくのうメモ **3**

2025MAR



表紙: 第43回 兵庫県ブラック&ホワイトショウ

フルカラー版は組合ホームページから  
ご覧いただけます。



発行：兵庫県酪農農業協同組合

神戸市西区伊川谷町潤和1058  
西神文化センター3階

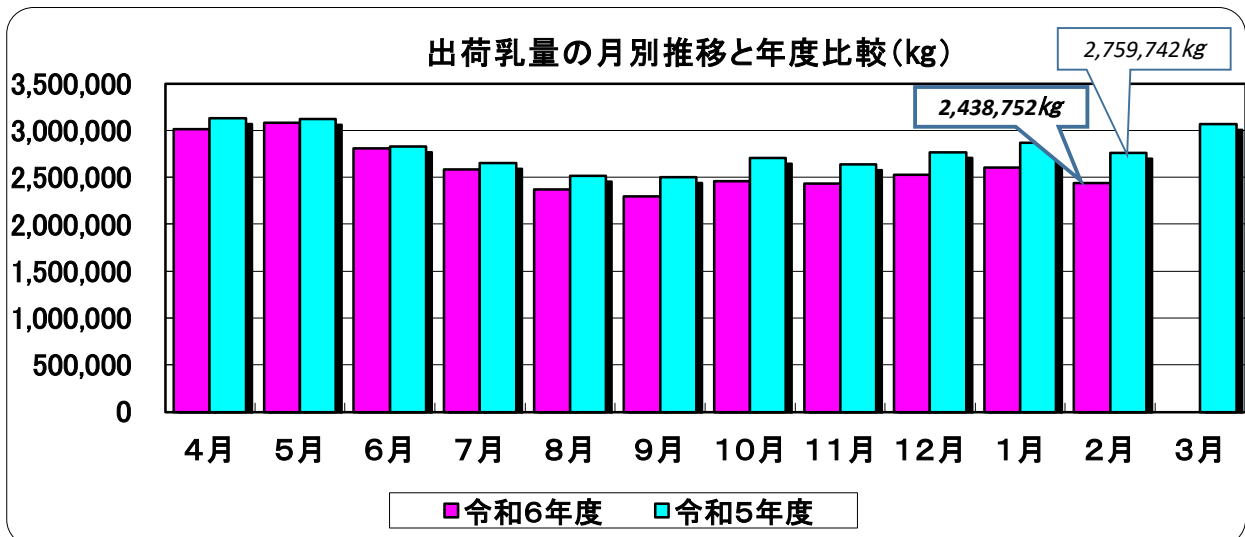
# 生乳生産統計

## 1. 全国(令和7年1月・農林水産省牛乳乳製品の生産動向より)

			生乳生産量 (千トン)	対前年比 (%)
令和	6年	4月	635.0	101.1
令和	6年	5月	655.6	101.0
令和	6年	6月	616.3	99.5
令和	6年	7月	606.5	98.3
令和	6年	8月	592.0	100.3
令和	6年	9月	579.3	101.0
令和	6年	10月	606.1	101.4
令和	6年	11月	589.0	101.8
令和	6年	12月	616.3	101.2
令和	7年	1月	632.2	101.9
令和	7年	2月		
令和	7年	3月		
令和	6年度	累計	6,128.3	100.7

## 2. 兵庫県酪農協取扱い分(公共施設除く)

地 区	令和 7年 2月		年度累計		出荷農家 戸 数
	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	
阪神地区	417,986	84.3	5,154,827	90.5	16
播州地区	314,870	91.1	3,638,942	94.2	15
丹但地区	232,524	92.5	2,601,460	89.4	12
淡路地区	1,473,372	88.4	17,245,915	95.6	67
合 計	2,438,752	88.4	28,641,144	93.9	110



## 開催結果報告

### 第43回兵庫県ブラック＆ ホワイトショウ

令和7年3月2日 淡路家畜市場において盛大に開催されました。当日の朝までは雨模様ではありましたが、日頃の行いが良い？晴れ男がいたせいか？開会式には雨も上がり皆さん万全の態勢で審査会場へ。ギャラリーも沢山詰めかけ大いに盛り上がった一日でした。  
GC及びRGCは次の通りです。



#### 【経産の部】

- GC 804 ハツピーグローリー ファーニア スタントنز R3.10.17  
綾部市 (有)BIG TREE FARM  
RGC 902 YMD ジャツキー CRS オーサム ジャスト R3.01.19  
綾部市 (有)BIG TREE FARM

#### 【未經産の部】

- GC 401 ケンノウ マヤ GW ラムダ ナツ ET R5.07.16  
加古川市 兵庫県立農業高等学校  
RGC 106 ハリマ リコラス アイキヤンデー カヌレ R6.04.30  
加西市 兵庫県立播磨農業高等学校

出品、関係者のみなさまお疲れ様でした。

秋の全ホル予選までコンディション整え頑張りまショウ。

兵庫県ホルスタイン改良協議会より

#### 3月

#### ◆ 主な行事予定 ◆

17日 全酪連 ブロック会長組合長会議（懇親会）  
（新大阪）

令和7年 祈年祭「伊弉諾神宮」

19日 淡路自衛防疫推進協議会幹事会（淡路家保）

20日 淡路花博25周年記念花みどりフェア開会式  
・シンポジウム（明石海峡公園）

21日 令和6年度ひょうごの美味し風土拡大  
協議会総会

24日 内部管理職会議

25日 近畿生乳販連コンプライアンス研修会  
（WEB）

26日 全国酪農協会三役会・理事会（東京）

27日 第7回理事会（WEB）

31日 年度末棚卸監査

#### 4月

1日 職員会議・辞令交付（WEB）

3日～5日 セントラルジャパンホルスタインショウ  
（御殿場）

13日 第4回西日本ブラック＆ホワイトショウ  
（岡山家畜市場）

# 戸数・頭数調査結果

## 管内飼養頭数及び農家戸数の状況

令和7年2月1日現在

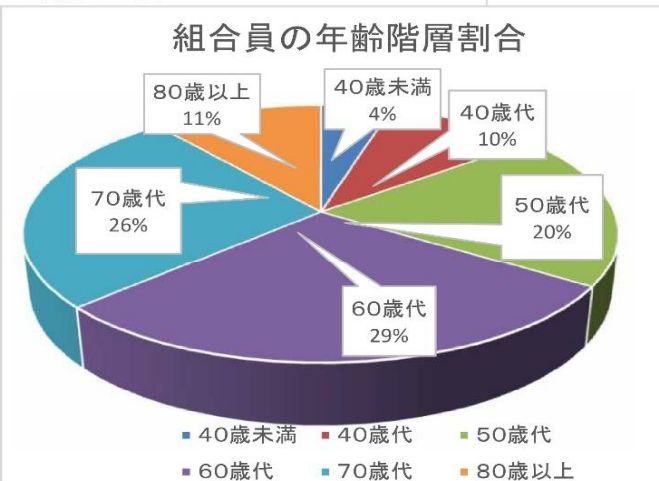
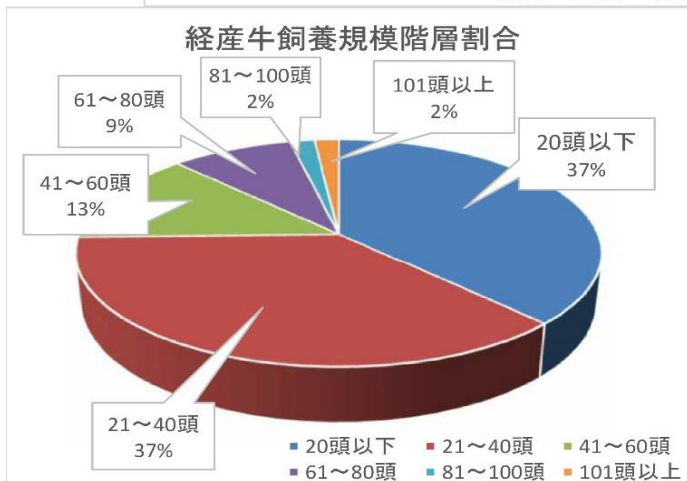
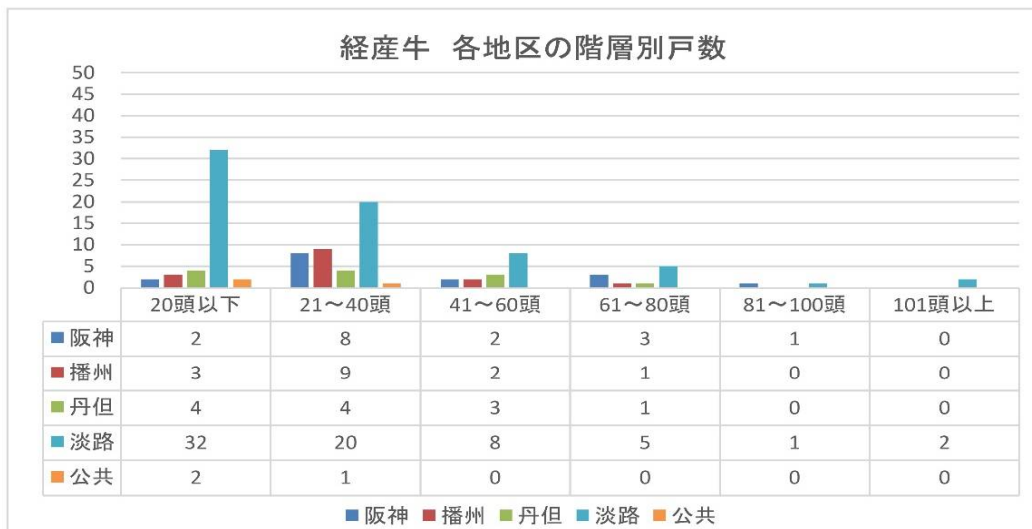
### 飼養頭数

地区名	戸数	経産牛			未經産牛			乳用牛合計	肥育牛	総合計
		搾乳牛	乾乳牛	小計	初妊牛	育成牛	小計			
阪神地域	16	583	74	657	121	182	303	960	0	960
播州地域	15	428	40	468	52	126	178	646	5	651
丹但地域	12	305	35	340	51	130	181	521	6	527
淡路地域	68	1,917	244	2,161	297	727	1,024	3,185	13	3,198
公共	3	51	11	62	17	38	55	117	0	117
合計	114	3,284	404	3,688	538	1,203	1,741	5,429	24	5,453

前回調査増減 ▲ 11 ▲ 133 ▲ 96 ▲ 229 ▲ 39 ▲ 25 ▲ 64 ▲ 293 19 ▲ 274

### 経産牛飼養頭数階層別農家戸数

	阪神	播州	丹但	淡路	公共	合計
20頭以下	2	3	4	32	2	43
21～40頭	8	9	4	20	1	42
41～60頭	2	2	3	8	0	15
61～80頭	3	1	1	5	0	10
81～100頭	1	0	0	1	0	2
101頭以上	0	0	0	2	0	2
合計	16	15	12	68	3	114





参考情報

淡路家畜市場情報

令和7年2月第2金曜日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	14	187,157	331,100	52,800			59
前回	27	99,407		174,900	12,100			54	87,750	88.3%	
前年	20	54,065		108,900	1,100			57	133,092	246.2%	
オス	今回	14	169,243	247,500	41,800			60			
	前回	21	103,243	200,200	23,100			56	66,000	63.9%	
	前年	13	74,038	136,400	1,100			56	95,205	128.6%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回											
前年											
オス	今回										
	前回	4	5,225	12,100	1,100			54	-5,225	-100.0%	
	前年	4	10,450	16,500	4,400			55	-10,450	-100.0%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

\* 前は令和7年1月第4金曜日・前年は令和6年2月第2金曜日

令和7年2月第4金曜日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回	14	187,157		331,100	52,800			59	-187,157	-100.0%	
前年	13	84,700		123,200	46,200			56	-84,700	-100.0%	
オス	今回										
	前回	14	169,243	247,500	41,800			60	-169,243	-100.0%	
	前年	17	79,847	145,200	12,100			56	-79,847	-100.0%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回											
前年											
オス	今回										
	前回										
	前年	1	18,700	18,700	18,700			56	-18,700	-100.0%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

\* 前は令和7年2月第2金曜日・前年は令和6年2月第4金曜日

# 隣県家畜市場情報

## 乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
4年次	61,056	878	68,011	1,060	60,809	224	70,776	85,621	
5年次	29,220	543	34,615	1,067	23,993	117	50,602	71,669	
6年次	33,585	464	32,402	1,042	32,296	50	47,081	65,478	
6	1	30,056	34	38,463	90	取引なし	46,203	5,796	
	2	33,259	34	33,658	92	14,300	4	46,549	5,562
	3	36,770	49	29,348	103	31,625	4	50,541	5,500
	4	42,848	42	34,354	78	41,800	3	64,268	5,843
	5	45,385	27	39,921	87	71,989	9	89,493	4,627
	6	62,924	54	63,092	59	75,900	3	128,836	4,102
	7	72,515	13	66,370	64	42,460	5	77,057	5,333
	8	40,288	40	38,341	86	取引なし	4	21,444	5,951
	9	20,618	39	22,641	92	10,560	5	16,885	5,533
	10	10,310	51	13,786	115	4,840	5	16,303	6,355
	11	15,636	42	18,724	79	2,200	1	18,892	5,502
	12	17,064	39	16,637	97	7,071	7	22,413	5,374
7	1	16,067	33	20,782	84	取引なし	5	27,344	5,796
	2	23,257	35	24,903	76	1,100	1	42,173	5,025
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

## 交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
4年次	157,307	6,259	149,060	3,820	190,213	1,918	135,855	174,435	
5年次	122,559	6,136	118,800	3,797	164,470	1,740	94,892	180,638	
6年次	128,605	5,764	133,192	4,175	175,217	1,401	112,269	174,340	
6	1	96,405	549	93,851	244	116,838	139	71,742	15,916
	2	105,955	496	106,128	402	139,177	143	89,564	15,252
	3	124,959	434	118,804	294	172,915	128	107,578	14,641
	4	149,621	580	155,327	325	203,810	117	127,307	14,983
	5	209,525	369	188,358	362	212,019	125	165,311	13,062
	6	243,157	309	233,689	268	236,406	105	207,580	10,699
	7	202,896	390	199,813	270	251,198	83	169,484	13,621
	8	127,372	371	137,538	354	209,105	94	96,371	14,272
	9	110,706	583	127,049	388	169,291	101	87,532	15,289
	10	78,990	627	94,268	492	137,013	104	77,530	17,498
	11	85,004	467	90,266	382	144,203	128	88,472	14,687
	12	105,577	589	105,319	394	162,103	134	105,694	14,420
7	1	113,308	535	120,105	322	187,600	134	112,008	14,837
	2	143,766	573	150,335	324	230,056	120	158,652	13,048
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意ください。

## 令和7年2月乳牛市場成績

頭：千円：税込

市場名	開催日	育成牛（特・8系・他）				初妊牛（特・8系・他）				経産牛（特・8系・他）			
		成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値
釧路	2/3	240	389	33	229								
十勝	2/10					885	1,109	110	668	102	767	167	460
釧路	2/11					314	880	143	577	3	396	393	395
十勝	2/13	491	507	10	268								
南北海道	2/14	85	344	8	175	106	736	198	481	7	558	160	317
北見	2/14	364	548	3	239	10	341	241	291				
根室	2/20					478	892	329	654				
北見	2/21					335	876	264	664	16	307	165	222
豊富	2/28					319	765	165	546	7	466	275	356
合計	9回	1,180	548	3	244	2,447	1,109	110	628	135	767	160	418
前年同月成績	11回	1,087	620	6	374	3,118	1,005	147	673	170	761	122	409
前月合計成績	8回	709	482	1	236	2,882	967	23	591	190	672	33	395

## ホクレン乳牛市場開催日程

3月 6日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)	4月 4日(金)	ホクレン北見地区総合家畜市場(佐呂間)	育成
3月 7日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富) 育成	4月 7日(月)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛) 育成
3月10日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)	4月14日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)
3月13日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更) 育成	4月17日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更) 育成
3月14日(金)	ホクレン南北道家畜市場	(安平)	4月18日(金)	ホクレン南北道家畜市場	(安平)
3月17日(月)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津) 育成	4月18日(金)	ホクレン北見地区総合家畜市場(佐呂間)	
3月21日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富)	4月23日(水)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛)
3月24日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)	4月24日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)
3月25日(火)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛)	4月25日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富)
3月26日(水)	ホクレン北見地区総合家畜市場(佐呂間)		4月28日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)
3月27日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)			

## ホクレン家畜市場所在地及び担当支所（問合せ先）

市場名	市場所在地	電話番号	担当支所・課	電話番号
南北道家畜市場	勇払郡安平町早未新栄4番地	0145-22-4109	苫小牧支所 酪農課	0144-36-1431
豊富地域家畜市場	天塩郡豊富町上サロベツ569番地の1	0162-82-3150	稚内支所 酪農課	0162-34-2131
十勝地区家畜市場	河東郡音更町字音更西2線9-1	0155-42-2231	帯広支所 酪農課	0155-66-8220
北見地区総合家畜市場	常呂郡佐呂間町西富127番地2	01587-2-2689	北見支所 酪農課	0157-23-9003
釧路地区家畜市場	釧路市大楽毛86番地1	0154-57-8457	釧路支所 酪農課	0154-23-6163
根室地区家畜市場	檜津郡中標津町南中10番2	0153-72-1366	中標津支所 酪農課	0153-72-9967
ホクレン本所 酪農部 家畜販売課	札幌市中央区北4条西1丁目3番地	011-232-6188		

☆家畜車の手配につきましても、各市場担当課にて承っておりますのでご相談下さい。





令和7年3月10日

## 輸入粗飼料の情勢

全酪連大阪支所  
酪農生産研究会

### 北米コンテナ船情勢

北米西海岸を中心とする航路では、本船スケジュールに乱れが生じており、主要な乗継航路を含めた混雑が続いています。クリスマス商戦や年末年始の貨物量の増加による影響で、慢性的な混雑は徐々に解消されつつありますが、いまだに一部の航路や港湾では遅れが発生しており、完全に海運情勢が安定するには時間がかかる可能性もあります。中国では旧正月が終了したことで、物流の回復が見られるものの、旧正月中に多くの本船が滞留していたため、荷役作業に遅れが出るのが予想されています。

また、日本国内においては、ゴールデンウィークに向けた船積みが始まっており、国内の主要港を中心に、更なる港湾の混雑を引き起こす可能性があるため、今後の動向には注視が必要です。

さらに、米国では、トランプ大統領が就任以来、複数の関税措置の発動を表明し、各国と貿易に関する協議を行ってきましたが、3月に入ってもその方針を維持し、追加関税を続ける意向を示しています。この追加関税の方針は、米中間の貿易摩擦を一層激化させる恐れがあり、世界全体の貿易関係にも悪影響を及ぼす可能性があります。これにより、海運業界の安定にはさらに時間がかかるとの予測が立てられており、今後も関税措置が与える影響に対して業界全体で慎重に対応していく必要があります。

### ビートパルプ

ノースダコタ州やミネソタ州をはじめとする主要なビートパルプの生産地では、2024—2025年産の生産と製糖作業が終盤を迎えています。これらの地域では、製糖の工程もほぼ完了し、収穫後の処理や出荷準備が進められる段階に入っています。一方、他の生産地では、5月下旬頃まで収穫や製糖作業が続く見通しです。

また、一部の生産者は、関税措置や不安定な輸出市場に対する懸念を抱えており、将来の収益に対する不安から早急に利益を確保しようとしています。そのため、早期に新穀の販売を開始している生産農家も多く見られ、輸出市場での価格動向に影響を及ぼす可能性も予想されています。

### アルファルファ

米国農務省（USDA）および全国農業統計局（NASS）が発表した2024年のデータによると、米国西岸北部（PNW）地域における生産量は前年から大きく減少しました。主要な生産州であるオレゴン州、アイダホ州、ワシントン州の生産量は、いずれも前年に比べて大幅な減少を示しています。オレゴン州は前年比97%、アイダホ州は86%となった一方で、ワシントン州では前年比78%という大幅な減少となっています。

この減少には、いくつかの要因が複合的に影響していると考えられています。まず、米国内での需要が低迷しており、その中でも特に酪農向けからの引き合いが弱くなっていることが挙げられます。アルファルファは主にたんぱく源として用いられるため、酪農家の経営状況に直結する影響を受けます。昨今の経済的な事柄や価格の不安定さ、代替飼料の選択肢が増加したことが、需要の低下に繋がったとされています。

さらに、輸出市場も低迷しており、輸出先として重要なアジアや中東での需要が減少し、市場価格が下落しました。価格の低迷は生産農家にとって大きな痛手となり、利益を確保するために他作物への転作が進んだことが、最終的に生産量の減少に繋がっています。生産農家は安定した収益を得るために、より高収益な作物へとシフトしているという状況です。

これらの要因により、PNW地域全体での生産量は大幅に減少しました。市場が回復するためには、国内外の需要が改善し、相場が安定することが重要ですが、現状ではその回復には時間がかかると予測されています。また、気候条件や農業政策が今後の生産に与える影響も注視されるべき課題となります。

#### 【カリフォルニア州】

カリフォルニア州南部のインペリアルバレーでは、2025年産のアルファルファ1番刈りの収穫がすでに始まっており、早い圃場では3月中旬から下旬にかけて2番刈りの収穫に進む見通しです。

灌漑局の発表によると、2月15日時点でのアルファルファの作付面積は147,431エーカーとなっており、前年同期の146,431エーカーから1,000エーカー増加しています。作付面積の増加は、暖冬の影響を受けて、農業環境が比較的良好だったことが背景にあると考えられます。

#### 米国産チモシー

産地では、米国内外からの馬糧向けの需要が引き続き順調に進んでいるため、産地価格は安定し、多くの産地在庫はすでに売約済みとなっています。

また、2025年産の作付面積は、産地価格が好調なことを背景に増加する見通しです。需要が安定している中で、農家は市場の好調さを受けて作付面積を拡大し、供給の



増加に対応しようとしています。特に、馬糞やペット向けの需要が堅調で、これが作付面積の増加を後押ししています。

## スーダングラス

カリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、2025年産のスーダンの播種作業が3月中旬から開始される予定です。一部の輸出業者が保持していた2022年産や2023年産の旧穀在庫を解消しつつあるため、2025年産の作付面積は、2024年産に比べてほぼ同程度か、若干の増加が見込まれています。

## クレイングラス（クレインは全酪連の登録商標です）

灌漑局の発表によると、2025年2月15日時点でのクレイングラスの作付面積は22,768 エーカーとなっており、前年同期の21,378 エーカーから増加しています。

韓国向けの輸出は依然として好調に推移しており、この需要が今後も続けば、2025年産の相場に大きな影響を与える可能性があります。

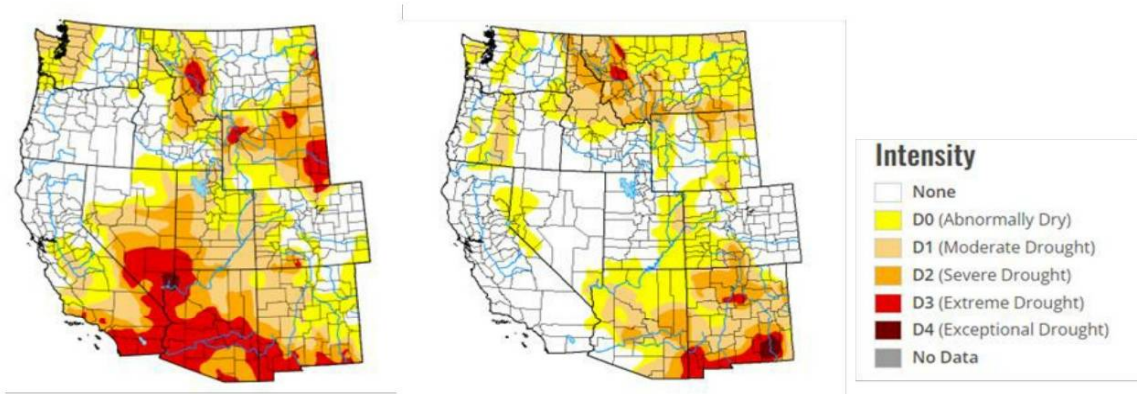
市場の需要が堅調に推移することで、2025年産の作付面積や相場にもポジティブな影響を与える可能性があります。輸出先の市場や需給バランスが重要な要素となるため、引き続き市場動向を注視することが求められます。

## 米国西部州の干ばつ状況およびミード湖の水位について

現在、米国の北部であるワシントン州やオレゴン州では積雪や降雨があり、乾燥状態が改善されています。一方、南部のカリフォルニア州やアリゾナ州では降雨がほとんどなく、乾燥した気候が続いており、干ばつが悪化しています。

米国内の需要に大きな変化は見られないものの、乾燥状態が続くことで供給面に影響を及ぼす可能性はあります。現時点では干ばつによる相場上昇の懸念はそれほど高くはなく、需給バランスは安定していますが、今後の天候や乾燥の進行具合によっては、相場に変動が生じる可能性もあり、今後の動向については注視が必要です。

特にカリフォルニア州やアリゾナ州の乾燥が続く場合、水資源の枯渇がさらに進行し、農作物の生産に影響を与える可能性があるため、その後の雨量や気象予報に注意を払いながら市場の動向を見守る必要があります。



(西海岸の干ばつ状況の比較。色が濃くなるほど、干ばつ状況が厳しい)

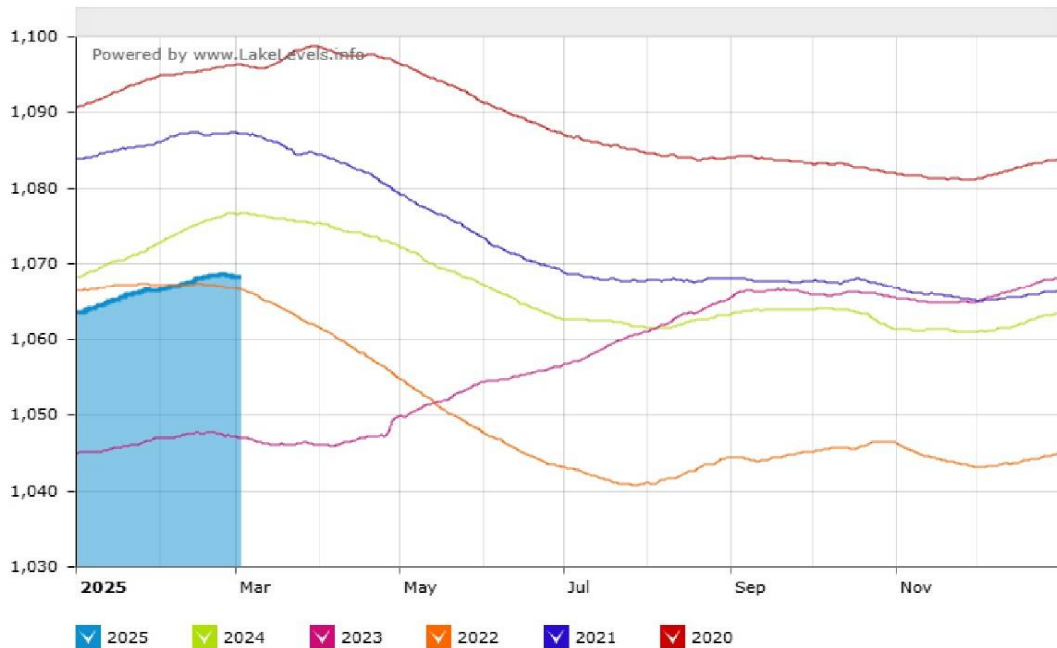
左：2025年2月27日 右：2024年2月28日

出典：National Drought Mitigation Center

2020年から2025年3月現在までのミード湖の貯水量の推移(単位:フィート)を振り返ると、特に2023年にはロッキー山脈からの雪解け水やハリケーンによる降雨の影響を受けて、ミード湖の水位は上昇しました(下図の紫線)。しかし、2020年(茶線)や2021年(青線)と比較すると、全体的には水位は依然として低水準のまま推移しており、改善の兆しは見られたものの、水位は十分に回復していないことが分かります。2024年にはミード湖の水位減少を抑えるための対策として、節水を目的としたDIP(休耕地政策)が開始されました。この政策は、水の消費を減らし、長期的に水源を守るための重要な取り組みですが、現時点では水位に大きな変化は見られず、依然として横ばいの状況が続いています。このため、ミード湖の水位回復には時間がかかり、引き続き水問題は長期的な課題であることが伺えます。

今後の水資源管理や降水量の変動、節水政策の効果が、ミード湖の水位にどのような影響を与えるかが重要なポイントとなりますが、現在のところ水問題が解消される兆しは見られず、地域の水利用に対する慎重な対応が求められます。





(出典： <https://www.lakesonline.com/>より)

## バミューダ

2024年産の生産は終了しています。灌漑局の発表によると、2025年2月15日時点での作付面積は76,815 エーカーとなっており、前年同期の66,347 エーカーから増加しています。この増加は、種子相場の好調や馬糧向けの需要が堅調に推移していることが背景にあります。特に、馬糧市場の需要の安定性が作付面積の増加を後押ししています。ただし、作付面積が増加しているにも関わらず、生産量については減少する見通しです。これは、DIPに参加する生産農家が一部存在するため、その結果、作付面積が増加しても、実際の生産量は減少する可能性が高いと見られています。

このように、需要が堅調である一方で、生産量の減少が予想されるため、市場価格や供給状況に変動が生じる可能性があります。

## カナダ産チモシー

主産地であるアルバータ州中部クレモナ地区および南部レスブリッジ地区では、2月中に氷点下10℃～20℃の日が続きましたが、3月に入っても氷点下を下回る日が続く見通しです。これにより、農作物の生育や作業に影響が出る可能性があります。また、気温の低下が続くことで、出荷スケジュールにも影響が及ぶ恐れがあり、降雪による道路状況や物流の遅延が懸念されています。

日本向けの需要に大きな変化はなく、出荷は順調に続いています。需要が安定しているため、出荷量に大きな影響はありませんが、天候による物流面の課題には注意が

必要です。

2025年産の作付面積については、競合作物の相場が低迷しているため、大きな増減はない見通しです。

## 豪州産オーツハイ・ウィートストロー

2024年産オーツハイは、地域によって降雨の状況が異なり、作柄に影響を及ぼしましたが、総じて、上級品の発生は少なく、低級品も限定的でした。このため、一部の輸出業者は低級品の供給を補うために、オーツハイとストローをブレンドして出荷しています。

各産地では、2025年産の播種に向けて生産農家との協議が始まっていますが、現時点での作付面積は昨年並みで、特に大きな増減は予想されていません。降水量や天候条件が重要な要素となるため、今後の気象状況が作付面積に影響を与える可能性はありますが、現段階では生産量の大幅な変動はない見通しとなっています。

南豪州や東豪州では、1月～2月にかけて降水量が少なく、土壌の水分が低下しています。これに対して、西豪州では平均的な降水量があり、生育にとっては比較的良好的な条件が続いています。さらに、3月から5月にかけては、全豪の生育地域で例年並の降水量が予想されており、今後の生育にとっては安定した気候が期待されています。

ウィートストローについては収穫作業が終了しており、生産期間中の猛暑や降雨の影響を受けましたが、輸出向けには西豪州からの出荷が見込まれています。発生量は限定的であり、需要は堅調に推移しています。

以上